

**2023年度**

次世代研究者挑戦的研究プログラム

リゾーム型研究人材育成プログラム

学生募集要項

大阪公立大学  
次世代研究者挑戦的研究プログラム支援室

**2022年12月**

※2023年度の従前想定予算を前提としています。事業予算が正式に確定した段階で、支援内容が変更される可能性があります。

# 1. プログラムの目的

このプログラムでは、博士前期課程までの研究活動等によって培ってきた専門知を深化させるだけでなく、他の領域・分野の専門知を積極的に吸収して自らの研究を深化・発展させようとする意欲を持ち、多様な専門知を有機的に結合することによって、社会課題の解決や先導的研究領域の創成、未来の社会像を描出しそれを具現化する能力を養成することを目的として、博士後期課程に進学する学生を積極的に支援します。

## 2. 支援内容

本事業の支援対象学生に対しては、以下の支援を行います。（標準修業年限を越えない範囲）

- 1) リゾーム研究奨励費：年間220万円（研究奨励費200万円＋研究費20万円）
- 2) リゾーム活動支援費：逐次申請 審査あり
  - 2)-1 国内外留学支援費（3～6ヶ月程度、支援期間中に最大150万円程度）
  - 2)-2 長期インターンシップ支援（3ヶ月程度を目安）
  - 2)-3 国際学会・海外サマースクール渡航費・参加費等支援
  - 2)-4 研究論文投稿費支援（翻訳費用を含む）
  - 2)-5 自主プロジェクト開催・運営支援
  - 2)-6 キャリア・ネットワーク形成支援

### 【注意事項】

(1) 支援期間は最大3年間（4年制（医学研究科、獣医学研究科）の場合は4年間）とし、本事業の支援開始前も含め在学期間が3年間（4年制の場合は4年間）を超える場合には、以降の期間は支援の対象とはなりません。

なお、支援期間中に休学する場合は、その事由により支援打ち切る可能性があります。

(2) 支援は、2023年4月（2023年秋入学予定者は2023年10月）から開始します。

(3) 支援の対象は、本選考に合格した者で、支援開始時点で3.出願資格に記載の研究科に在籍しかつ休学していない者です。

### 3. 出願資格

優れた研究能力を有し、研究に専念することを強く希望する以下のいずれかの要件を満たす者を支援します。

- 1) 2023年4月入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）の研究科に出願中または入学予定である者
- 2) 2023年秋入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）の研究科に出願予定である者（注：医学研究科、獣医学研究科は含まれません）
- 3) 2022年4月入学者で、大阪公立大学博士後期課程（3年制）の研究科に在籍している者（注：医学研究科、獣医学研究科は含まれません）
- 4) 2021年4月入学者で、大阪市立大学または大阪府立大学大学院の博士課程（4年制）の研究科（医学研究科、獣医学専攻）に在籍している者

ただし、支援開始時点で以下に該当する者は除きます。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)に採択されている者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・社会人学生のうち、所属企業等から安定した十分な生活費相当額（240万円/年を基準とする）を受給可能な制度がある者
- ・既に、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業の支援を受けている者またはその選考に合格し2023年度支援を受ける予定の者。ただし、本事業の選考への出願時までには支援あるいは合格の辞退届を提出した者はこの限りでない（支援を受けている者は最長2023年3月31日付での支援終了とする）。辞退届を提出せずに出願した場合は、出願を無効とする。

本プログラムを遂行するためには、指導教員の理解が不可欠です。出願前に、必ず、指導予定教員の了解を得てください。 また、予め本事業HPに掲載の「プログラム説明資料」を見て本プログラムの趣旨を十分に理解したうえで、申請ください。（本事業HP: [https://www.omu.ac.jp/spring/info/2023\\_recruitment/](https://www.omu.ac.jp/spring/info/2023_recruitment/)）

#### 【注意事項】

- (1) JASSOや各種財団の奨学金等経済支援との併給について

本事業は「学生が研究に専念できる環境を整備」するものであり、JASSOの奨学金と性質が異なることから、貸与型・給付型のいずれであっても、併給は基本的に可能とします。ただし、JASSOにおいて奨学金の併給を不可としている可能性がありますので、必

ずJASSOにも確認を取ってください。各種財団の奨学金等についても、配分元で本事業との併給を認めないケースがありますので、必ず配分元に確認するようにしてください。

(2) 本事業に出願する場合には、大学フェローシップ創設事業に出願することはできません。万が一、両事業に出願していることが明らかになった場合には、審査前に、いずれか一方の出願を取り下げさせていただきます。

ただし、本事業に出願する場合には、大学フェローシップ事業の分野を第2希望・第3希望として申請フォームに記入することができます。本事業に採択されなかった場合で、かつ第2希望として記入した分野に欠員がある場合のみ、第2希望の分野で選考の対象となります。第2希望の分野に採択されなかった場合、第3希望に欠員がある場合のみ、第3分野で選考の対象となります。なお、第2希望と第3希望を同じとすることはできません。

## 4. 募集予定人員

- |                                    |         |
|------------------------------------|---------|
| 1) 2023年4月入学予定者                    | : 21名程度 |
| 2) 2023年秋入学予定者（3年制）                | : 2名程度  |
| 3) 2022年4月入学者（3年制）、2021年4月入学者（4年制） | : 2名程度  |

## 5. おもな日程

- 1) 出願期間  
2023年1月20日（金）～1月31日（火）12:00（申請フォーム入力期限）  
2023年1月20日（金）～1月31日（火）15:00（小論文・写真提出期限）
- 2) 面接日時通知  
2023年2月10日（金）までに申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知
- 3) 面接  
2023年2月14日（火）～3月2日（木）9時～17時30分のうち指定する25分程度
- 4) 合格発表  
2023年3月17日（金）合格者に申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知  
※ 電話等による合格・不合格の照会には一切応じません。

## 6. 出願方法など

### 1) 出願先

<https://forms.office.com/r/X4mGRK94GX>にアクセスして必要事項を入力ください。

入力(送信)期限： 出願期間最終日の12:00

適切に入力して送信が完了すれば、入力したメールアドレスに申請を受け付けた旨のメールが届きます。このメールに、2)に記載の2つのファイルを添付して返信してください。

ファイル送信期限： 出願期間最終日の15:00

ファイル送信先： [gr-knky-rhizome-su@omu.ac.jp](mailto:gr-knky-rhizome-su@omu.ac.jp)

※ファイル受領の確認メールは発信いたしません。

2つのファイルは暗号化したうえで送信し、解凍用パスワードを別メールで送信ください。

出願期間内に申請フォームの送信を完了し、2つのファイルを提出すれば出願は完了します。入力内容や提出書類に不備のある場合には事務局から連絡する場合があります。

※上記申請フォームは入力項目が多いので、想像以上に時間がかかる場合があります。出願期間を過ぎないように、時間に余裕をみて申請ください。また、入力期間中に上記フォームに複数回入力(送信)した場合には、最後に入力完了(送信)したもののみ有効として受理します。

### 2) ファイル

・(様式1)を用いて作成した小論文

ファイル名を「学籍番号\_氏名.pdf」としてください。(必ず、pdf形式としてください)。

・肩より上が写った顔写真(jpg、bmp、png形式)

ファイル名を「学籍番号\_氏名.jpg(あるいはbmp、png)」としてください。

※出願時点で、他大学に所属する場合は、学籍番号の入力は不要です。

様式1は [https://www.omu.ac.jp/spring/info/2023\\_recruitment/](https://www.omu.ac.jp/spring/info/2023_recruitment/) からダウンロード出来ます。

#### 【注意事項】

- (1) 出願書類に不備のあるものは受理できないことがあります。
- (2) 出願時に提出された書類は返却しません。
- (3) 出願手続後は書類の変更は認めません。
- (4) 入力事項や提出書類の記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本事業への参加資格を取り消す場合があります。
- (5) 出願にともなう個人情報、選考目的以外には使用しません。
- (6) 選考に係る検定料は無料です。

## 7. 選考方法

### 1) 試験内容

試験科目	配点	概要等
小論文	100点	様式1に従って作成すること。
面接	100点	オンラインで実施します。冒頭7分間で小論文の内容をプレゼンテーション(PowerPoint等使用可)、その後13分程度の質疑応答を行います。

### 2) 判定方法

小論文ならびに面接の採点結果に基づき評価します。

採点はルーブリック評価表の項目内容に沿って、実施されます。

## 8. 面接日時および場所

- ・ 出願書類受理後、2023年2月14日（火）～3月2日（木）のいずれかの日時を指定します。
  - ・ 上記期間内で、学会発表等の正当な理由により面接を受けることができない時間帯がある場合は、申請フォームの所定欄に理由を添えて面接を受けられない時間帯を明記してください。（後日、理由を証明する文書等の提出を求める場合があります）。
- ただしこれによって特定の時間帯以外での面接を確約するものではありません。
- ・ 面接の所要時間は最大約25分です。
  - ・ 実施日時、ならびにZoomのURLは、2月10日（金）までに、申請フォームに記載の電子メールアドレス宛にお知らせします。当日16時30分までに連絡がなかった方は、必ず同日17時までに、「11. 問い合わせ先」に記載のメールアドレスまで連絡してください。

### 【注意事項】

- (1) 自然災害等により、面接が予定通り実施できない場合、「緊急のお知らせ」をメールで配信しますので、確認してください。
- (2) 面接当日の緊急連絡先は、「11. 問い合わせ先」と同じです。

## 9. 対象学生の責務

本事業に採択された学生には、以下の責務があります。守られない場合には、支援の打ち切りおよび支援金の返還を求めることがあります。

### 1) 副研究科等の指導教員を設定し、複合知の研究の推進

採択決定後に、指導教員やメンターと相談して副研究科等の指導教員を設定することも可能です。

- 2) 大学院共通教育科目から一定数の単位を取得。
- 3) 3～6ヶ月程度の国内外留学
- 4) 長期インターンシップ（3ヶ月程度を目安）：推奨
- 5) 研究進捗報告会への出席
- 6) JST指定の研究倫理教育及び本学の定めるコンプライアンス教育の受講

## 10. 注意事項

本事業は、大学院博士後期課程（博士課程）入学後の研究を支援することを目的としています。入学前に本事業に採用されても、大学院入試は免除されません。本事業の可否は、大学院入試とは関係ありません。また、本事業では、入学料・授業料の減免・補助は行いません。（入学料・授業料の減免・補助その他の本学で実施する経済支援制度については、それぞれの制度担当にお問い合わせください。）

## 11. 問い合わせ先

※下記支援室あてにお問い合わせください。

なお、事務局の情報共有に齟齬がないよう、問い合わせはメール受付のみとします。予めご了承ください。

次世代研究者挑戦的研究プログラム支援室

メール：[gr-knky-rhizome-su@omu.ac.jp](mailto:gr-knky-rhizome-su@omu.ac.jp)

## 小論文

氏名	
所属	研究科 専攻
指導教員	
研究題目	
研究キーワード(5個程度)	
※指導を希望する副研究科等 および教員名	

※申請段階で決まっていない場合には、予定者名あるいは想定している研究科名等を必ず記入のこと。

次ページ以降に、下記の要項に従って、小論文を書いてください。

- フォーマットは自由記述とします。
- 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。
- 文字数はA4用紙(45文字/行 × 40行程度)で、図・表・グラフを含み3ページ以内とします(本ページを含めると4ページ以内)。英語の場合は、最大3000ワードとします。本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。
- 以下の内容を含めて記載ください。

- 1) 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性(先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。そのうえで、学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。令和5年度(2023年度)日本学術振興会特別研究員に応募した者は、補足資料としてその申請書を本小論文とは別に添付しても良い。
- 2) このプログラムで得られる研究成果が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来の社会像の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
- 3) リゾーム型研究者育成プログラムの趣旨に則ったどのような『複合知』が必要と考え、それをどのように習得しようとしているか記述してください。
- 4) 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル(※)を身に付けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。

(※本事業におけるトランスファラブルスキル：イノベーション人材に必要なとされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、データ分析力、プレゼンテーション力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル)

- 5) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。